

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 月 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 月 日 作成

事務事業名		地域子育て創生事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	青木 洋治
	施策	18	子どもを見守り、育てる地域づくり			所属課	子育て支援課	担当者名	栗木 清智
	基本事業	58	子育てと仕事の両立支援			所属班	子ども保育班	(内線)	2158
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	成果優先度評価結果	
		1	3	2	4	11449		コスト削減優先度評価結果	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input checked="" type="checkbox"/> 22年度から開始				事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	・ふれあい館で実施している病児・病後児保育室の感染症等対策のための空気清浄機等備品の購入及びトイレや手洗い場、入り口のドア改修工事を実施する。 ・先の新型インフルエンザ発生を機にふれあい館の病時・病後児保育室を嘱託医に見てもらったところ、施設の機能的に感染症対策にはなっていないとの指摘を受けていたところ、丁度国の経済対策事業である安心子ども基金で10分の10事業に該当すると判明したため計画した。 ・病時・病後児保育事業は年々ニーズが増えており、病気の内容も多岐に渡ることや先般の新型インフルエンザのような病気が蔓延する可能性があるため、機能強化は必要である。
【業務の流れ】	①感染防止計画打ち合わせ、検討 ②工事(購入)施行伺い(負担行為) ③業者選定 ④工事請負(購入)契約伺い ⑤工事請負(購入)契約締結 ⑥工事進行管理 ⑦県補助金交付申請 ⑧県補助金概算払請求 ⑨竣工(納入)検査 ⑩実績報告書・請求書受付、審査 ⑪支出命令 ⑫県補助金実績報告 ⑬県補助金清算
【主な予算費目】	病児・病後児保育事業を委託している市社会福祉協議会からの事業計画に基づき算出 ・工事請負費
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	医師からは、施設の、機能的に感染症等対策にはなっていないとの指摘を受けた。

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		
① 手段(主な活動)	21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 感染症等対策に必要な加湿空気清浄機や洗濯乾燥機、除菌機能掃除機、布巾乾燥機、手指殺菌機、安全ゲートの購入とトイレや入り口等の改修工事を実施
④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標	(単位)	(単位)
⇒ ア 病児・病後児保育室箇所数	施設	施設
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
病時・病後児保育施設		⇒ ア 感染症等対策が必要な施設数 施設
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑥ 成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
感染症等対策のため施設を整備する		⇒ ア 感染症等対策ができた施設数 施設
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠		

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度実績(決算)	20年度実績(決算)	21年度目標(当初予算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	23年度予定	24年度見込
④ 活動指標	ア 施設						1		
⑤ 対象指標	ア 施設						1		
⑥ 成果指標	ア 施設						1		
投資入量	事業内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円				1,900		
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
		一般財源	千円						
	(A) 事業費計	千円	0	0	0	0	1,900	0	0
(A)のうち指定経費	千円								
(A)のうち時間外、特勤	千円								
人件費	正規職員従事人数	人							
	延べ業務時間	時間							
	(B)人件費計	千円	0	0	0	0	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	0	0	0	1,900	0	0

総トータルコスト	全体計画
～ 年度	
(期間限定複数年度のみ記載)	
	0
	0
	0

谷志市

事務事業名	地域子育て創生事業	所属部	健康福祉部	所属課	子育て支援課
-------	-----------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善(有効性改善)
 事業のやり方改善(効率性改善) 事業のやり方改善(公平性改善)
 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(2) 改革・改善による期待成果

(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策